

令和6年第2回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、6月4日（火）に順位1～5を、5日（水）に順位6～10を、6日（木）に順位11を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	5番 昆 清	1 織笠地区道路整備について	以前の定例会でも質問しましたが、上地区の三陸沿岸道路高架橋下町道織笠・礼堂線の一部が狭く通行に支障を来しているとの町民の声がある。このことについて当局の見解を伺います。
		2 観光客誘致について	当町の観光客誘致について伺います。 (1) 船越家族旅行村のキャンプ場については、当局からは県所有地であり県からの回答待ちとの報告であるが、いまだオープンできないのは何が原因なのか伺います。 (2) 入江田沼周辺のパークゴルフ場は、整備のために工事費をかけたのにもかかわらずなぜ、早期の供用開始が出来ないのか伺います。
		3 街灯について	八幡町地内の街灯について、都会から帰省中の方々より街灯が少なくて夜は物騒であるとの声が多々寄せられているが、当局としての対応を伺います。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	5番 昆 清	4 水道管老朽化について	現在、能登半島地震で水道管が話題となっているが、当町の水道管老朽化への対策は取れているのか、また当町における耐震管の普及率を伺います。
		5 水産加工業者への補助金について	新聞報道によると、県では水産加工業者に対し新しい補助制度を創設したようだが、この事業を使いたい加工業者がある場合、町はどのような支援を考えているのか伺います。
		6 地域医療の確保について	これまで地域医療を支えてきた地域の医療機関も高齢化等で減少していく中、県立病院も含めた地域医療をどう維持していくのか町の考えを伺います。
		7 廃止された公共施設の管理体制について	(1) 町内において廃止された公共施設は、何軒あるのか伺います。 (2) 最近旧山田病院に不法侵入があり、逮捕者が出たとの事であるが、管理体制はどのようなになっているのか伺います。
2	8番 佐々木 慶信	1 児童生徒の海外派遣事業について	オランダザイスト市のジュニア大使友情使節団派遣事業は、非常に大きな成果を上げてきたと思います。この年代にしかできない貴重な体験をさせることは大きな意義があると思います。オランダの歴史と文化を学び、さらには学校教育や社会生活を体験して国際感覚を体得する貴重な事業でした。この派遣事業は本町の発展に寄与する人材を育成するという視点からも素晴らしい事業であったと認識しています。 これからの山田町を担う児童生徒の育成のためにも貴重な体験をさせることは大きな意義があります。そこで伺います。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	1 児童生徒の 海外派遣事業 について (つづき)	<p>(1) 派遣事業は何年間実施され、派遣された生徒数はどのくらいか。</p> <p>(2) 派遣事業を実施しての成果と課題について伺う。</p> <p>(3) なぜ派遣事業が取りやめになったのか。</p> <p>(4) 「まちづくりは人づくり」の観点からも派遣事業は貴重な体験ができる事業であると考えているが、これからの計画を伺う。</p>
		2 フッ化物洗 口の導入につ いて	<p>岩手県保健福祉部健康国保課「12歳児一人平均むし歯本数」(令和2年度・3年度・4年度の3年分集計)のデータによりますと、本町のむし歯本数は2.20本で、県内33市町村ワースト2という現状です。令和4年度の虫歯本数が0.24本と全国トップの新潟県は、学校単位で虫歯予防の効果があるフッ化物溶液で口をすすぐフッ化物洗口に力を入れています。虫歯は最も有病率が高く、しかも蓄積性の高い疾患です。予防対策を行わなければ、その後も虫歯の再発リスクが高いまま推移していきます。フッ化物洗口の効果は、実施後も20歳代、30歳代まで持続することが報告されています。</p> <p>学童期にフッ化物洗口により虫歯予防を進めることは、歯の一生を考えた上で最優先される歯科保健対策と考えています。そこで伺います。</p> <p>(1) 令和2～4年度のデータでは県内ワースト2であるが、それ以前の本町のデータはどのようなになっているか。</p> <p>(2) 県内でどのくらいの市町村がフッ化物洗口に取り組んでいるか。</p> <p>(3) 本町の虫歯予防の取組状況はどのようなになっているか。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	2 フッ化物洗口の導入について (つづき)	(4) むし歯予防の観点からフッ化物洗口を小中学校に導入する予定はないのか。
		3 子供の貧困について	<p>厚生労働省が令和3年7月4日に公表した「国民生活基礎調査」によると、子供の貧困率(貧困状態にある17歳以下の子供の割合)は、前回調査の14%から11.5%となり、2.5%改善しました。7人に1人の貧困率から9人に1人にまで改善したということです。</p> <p>生活困窮家庭の子供たちは勉強時間や体験活動に格差が生じたり、孤独・孤立が深まったりすることが指摘されています。生活困窮家庭の子供たちに対して自己肯定感、生活習慣、学習習慣などの生き抜く力を伸ばす支援をしていく必要があると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 本町の17歳以下の人口は令和6年5月1日時点で1,556人であり、これに11.5%を乗じると178人が貧困状態にあると推計できます。町としてこの数字をどう捉えているか。</p> <p>(2) 本町小中学生の自己肯定力は県内市町村と比較して、どのような数値か。</p> <p>(3) 本町は今まで子供の貧困問題にどのような対策を講じてきたか。そして今後は貧困問題にどのように対処していくのか。</p>
3	7番 山崎 忠弘	1 行政サービスへのアプリの活用について	<p>全国的に行政サービスへのアプリの活用が進んでいる。地域活性化イベントの最新情報の発信、ごみ捨て日やごみの捨て方のサポート、防災情報の収集や発信、子育てのサポート、観光地・公共施設へのGPSナビゲーションによる経路案内、カメラ投稿機能で道路照明灯の切れている箇所などの情報共有・迅速な対応などである。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	1 行政サービスへのアプリの活用について (つづき)	<p>県内の市町村でも活用する動きが進んでいる。各市町村のホームページを確認してみると、本格的な普及はこれからのところも多いようであるが、矢巾町では、住民ポータルアプリ「やはナビ！」の提供を昨年12月に始め、転出届など各種申請書を作成できるほか、ごみを写真に撮ると分別先を教えてくれる機能を2月に追加した。</p> <p>また奥州市では、令和3年からアプリ「ぽちっと奥州」を運用している。子育て、防災、暮らしなど分野別にアクセスでき、希望に応じ、イベント告知、防災、感染症の発生動向、各種支援などの通知が受けられる。「子育て応援」機能は子どもの身長・体重を成長曲線で管理したり、家族の思い出をカレンダーに記録できる。投稿機能は、道路照明灯の切れている箇所や道路の危険箇所、漏水箇所を写真付きで情報提供し、迅速な対応につなげている。このように、マンパワー不足を背景にデジタル技術を生かした住民の利便性向上と業務の効率化を図る取り組みが各地で進められている。</p> <p>本町においても、マンパワーは不足しているものとする。行政サービスへアプリを活用することにより、町民の利便性は向上し、業務の効率化も図られるものとする。</p> <p>そこで、本町の行政サービスへのアプリの活用について、次のことを町長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) アプリ活用の現状と課題について (2) 今後のアプリ活用の計画について (3) 道路照明灯の切れている箇所や道路の危険個所の情報を写真付きで、町民から提供してもらい、迅速な対応につなげることのできるカメラ投稿機能の早急な整備が必要と考えるが、町の考えはどうか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	2 「地域おこし協力隊」の増員について	<p>都市地域から地方に移住し、地域ブランドや地場産業の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みを進める「地域おこし協力隊」が県内で増加している。本町でも、今年度5人の協力隊員が加わり、奮闘中とのことである。</p> <p>そこで、「地域おこし協力隊」について、次のことを町長に伺う。</p> <p>(1) これまでに委嘱した「地域おこし協力隊」の人数及びどんな取り組みを行ってきたのか。</p> <p>(2) これまで進めてきた取り組みによって、どのような成果が出ているのか。</p> <p>(3) 任期を終えた「地域おこし協力隊」の定住率はどれ位か。また定住した方々はどのような活動をしているか。</p> <p>(4) 本町への外国人観光客誘致のため、外国人に限った「地域おこし協力隊」の募集が必要と考えるが、町の考えはどうか。</p> <p>(5) 今後の町の人口減少対策や活性化のため、「地域おこし協力隊」は重要なものになっていると考えることから、今後も隊員を増やして、本町の課題について取り組みを進めていくべきと考えるが、町の考えはどうか。</p>
		3 若手職員の退職増加への対応策について	<p>総務省の「令和4年度地方公務員の退職状況等調査」によると、一般行政職のうち、令和4年度に主に自己都合で仕事を辞めたのは1万2501人である。平成25年度が5727人であったことから、約10年で2.5倍になった。そのうち、30歳代までの若手職員が全体の3分の2を占めているとの結果となった。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	3 若手職員の退職増加への対応策について (つづき)	<p>さて、本町の職員は、厳しい採用試験を通過して役場職員になっている。そういう職員が、定年を待たず途中で退職を選択するという現実を見てショックを受けた。特にも、若い職員が退職していくということが残念でならない。町職員としての仕事のやりがいや待遇への不満、業務量の増加が影響していないかなどその問題点を、しっかりと把握し、町民サービスの低下や組織の弱体化が起こらないよう、働きやすい職場づくりを進める必要があると考える。</p> <p>そこで、本町の職員の退職に関し、次のことについて町長に伺う。</p> <p>(1) 10年前と現在を比較して、普通退職者全体及び30歳代までの人数と退職理由を示せ。</p> <p>(2) この現状を、町としてどのように捉えているか。</p> <p>(3) 全国的には、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントが退職理由になっている自治体があるが、本町の状況及びそれへの対応をどのように進めているか。</p> <p>(4) 最近の報道を見ると、民間企業も含めて、カスタマーハラスメントが問題となっているが、本町の状況及びそれへの対応をどのように進めているか。</p> <p>(5) 悩みや不満などを持つ職員への相談体制は整備しているか。</p> <p>(6) 退職者を減少させるためにどのような対策を進めているのか。</p>
4	4番 中屋 佳信	1 少子化対策に係る結婚支援の推進について	<p>岩手県は、2月に開催した人口問題対策本部会議で、県内の昨年の出生数推計が5,500人と、記録が残る昭和26年以降で最少となる見通しを発表した。その主要因について平成30年に約4,500件あった県内の婚姻件数が、コロナ禍の影響 (次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	4番 中屋 佳信	1 少子化対策に係る結婚支援の推進について (つづき)	<p>により令和2年からの3年間は4,000件を下回ったことをあげており、県知事も少子化対策として出生数の増加については、未婚率を減らし婚姻率を増やすように早めの手を打って行きたいと述べている。町についても同様に結婚支援について積極的な取り組みを行うべきと考えるが、町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 本町の出生数と婚姻件数について、平成20年・平成30年・令和元年から令和5年までの各年の状況を示せ。 また、それに対する町の見解を伺う。</p> <p>(2) 町の結婚支援対策が見えていないと感じているが、具体的にどのような事業を行っているのか。</p> <p>(3) 県及び県内全市町村等が連携して運営している、`いきいき岩手`結婚サポートセンター(i-サポ)に登録している会員数と男女の内訳及び成婚数について、県全体と山田町の状況について示せ。</p> <p>(4) i-サポへの入会登録料は1万円で、登録から2年間有効となっているが、沿岸では多くの自治体が登録料を全額補助し、ホームページに掲載するとともにi-サポサイトへのリンクを貼り事業をバックアップしている。有効な結婚支援対策として、本町でも同様の取り組みを早急に行うべきと考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>(5) 町内在住者の結婚に対し5万円の祝い金を支給するとともに、町内で結婚祝賀会を開催された方に結婚祝賀会祝い金7万円を支給している自治体があり、ユニークで積極的な支援策と考える。金額の多寡は別にして同様の結婚祝い金制度創設を望むものであるが、町の見解を伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	4番 中屋 佳信	2 高齢者等公衆浴場入浴料の助成について	高齢者の健康増進と介護予防並びに憩いや交流の場として、公衆浴場の利用推進を目的に入浴料助成を行っている自治体がある。本町でも、高齢者の福祉増進はもとより、2カ所だけとなってしまった公衆浴場を維持させる意味合いからも、同様の制度実施を期待するものであるが、町の見解を伺う。
		3 鯨カヌーレースの復活開催について	本町の特色あるイベントとして人気があった鯨カヌーレースは、惜しまれながらも平成16年を最後に中止となった。その後、保管されていた鯨カヌーは東日本大震災により流出し、損傷や備品の流失はあるものの、船体は回収され保管されていると聞いている。レース中止から20年、震災から13年を経過したところであるが、当時は浦の浜海水浴場で開催された「山田ビーチフェスティバル」のメインイベントとして、町内外から1,000人もの入場者があった事業である。 正に山田町にしかない、魅力ある鯨カヌーレースの復活開催を期待するものであるが、町の見解を伺う。
		4 町道沿いの立ち木等の適正管理と剪定伐採について	関谷地区の山田高校旧校舎跡地付近の「さいかち並木」は近年、大木化・老木化が進行し、大ぶりの枝が町道側に張り出したり、腐食による幹の空洞化や立ち枯れしているものも見受けられ、町道に枝折れや倒木があれば、通行止めはもとより、場合によっては交通死亡事故の危険もあることから、町の対応について伺う。 (1) さいかち並木及び櫛等の周辺樹木の所有者及び管理体制はどのようになっているのか。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	4番 中屋 佳信	4 町道沿いの立ち木等の適正管理と剪定伐採について(つづき)	<p>(2) 町道側への倒木等により事故等が発生すれば、道路管理者としての責任も問われ兼ねないと思うが、指摘箇所に限らず、町道沿いの樹木について巡視点検を実施しているのか。</p> <p>また、未実施であれば、通常の道路パトロール等に加えて、町道沿いの樹木の点検も行うべきと思うが、町の見解を伺う。</p> <p>(3) 町道側へ枝が大きく張り出したり、道路上空を覆っている箇所については、速やかな剪定及び伐採を望むものであるが、町の対応について伺う。</p>
5	13番 山崎 泰昌	1 商工観光の振興について	<p>(1) 「船越春のむらまつり」が先日行われ、大盛況であった。あらためて町の大きな観光資源の一つであると実感した。今回の大成功が町内事業者や商業施設にもたらした波及効果はどのようなものか。</p> <p>(2) 道の駅やまだ「おいすた」について伺う。</p> <p>① 「おいすた」内に子供を乐しませる遊具の設置を考えていたようだがどうなったのか。</p> <p>② 連休中の混雑を見て感じたが、広くなくてもペットを遊ばせるスペースも確保してはどうか。</p> <p>③ 屋外でバーベキューを行えるようにする予定だと認識しているが、行った実績はあるのか。また、準備はできているのか。</p> <p>(3) 以前から質問してきたが、荒神海水浴場への道路整備の進捗状況は。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	13番 山崎 泰昌	2 インフラ整備について	<p>(1) 「準用河川早川川改修工事」が始まった。地域住民の安全や利便性向上に大いに資するものである。道路建設のために山を切り開いた場所では新たに排水路ができた所が多くあると認識しているが、経年劣化などで新たに手を加えなければならない箇所はあるか。</p> <p>(2) 船越第8団地内に消火栓などの消火設備が少ないのではと感じている。住宅地はもちろんであるが、付近の林野火災などにも対応できるのか。</p> <p>(3) 防潮堤には避難路として階段があるが天板には落下防止柵がついていないので、緊急時以外には使用できないように県と協議してはどうか。</p>
		3 山田小学校について	<p>(1) 町内の小学校が統合され、慣れない場所に登校する児童はもとより、保護者の方々も通学に不安を感じているようだ。通学のためのスクールバスは必要不可欠であるが、新たな路線の設定や路線変更はあるのか。また、通学に関し、保護者からの要望などはないのか。</p> <p>(2) 統合前の各小学校では、その地域に根付いた行事や生活習慣などを授業に取り入れてきたが、統合後そのような取り組みは行われたのか、また今後はどのような取り組みを行うのか。</p>
6	3番 阿部 吉衛	1 オランダ島について	<p>今年2月の低気圧の影響により、オランダ島の浮棧橋が破損し、砂浜に打ち上げられたが、遊歩道に影響はなかったのか。</p> <p>また、浮棧橋及び遊歩道の今後の対策等について、当局の考えを伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	3 番 阿部 吉衛	2 環境美化について	<p>昨年7月、道の駅やまだ「おいすた」がオープンし、1周年を迎えようとしている。町道細浦柳沢線も交通量が多くなり、地域住民の方々の横断等が危険なときが多く見られる。そこで伺う。</p> <p>(1) 町道細浦柳沢線付近の街路樹や花壇等は、いつ頃、誰が、どのような経過で整備したのか。また、植栽するにもルールがあると思うが、詳しく説明してください。</p> <p>(2) 町内歩道沿いの私有地で雑草が生え、手つかずの土地があり、歩行者の通行の支障になる可能性がある。地区自治会が草刈り等をできるように町で地権者と調整をとることはできないか伺います。</p> <p>(3) 各地区の自治会などでは地域住民、役員の方々、ともに地域環境美化に取り組んでおられます。</p> <p>このような中、公共施設の維持管理について、普段利用している地区の自治会から希望がある場合は委託できるような体制をとれないのか伺います。</p>
		3 災害公営住宅について	<p>町営柳沢第1団地は共益費が町内で1番高いので、入居者が少ないのではと考えております。A、B、C棟で49室ありますが、11室が空室となっております。震災前からの建物であり、A棟、B棟にはエレベーターも無く、高齢者の方々は階段の上り降りに大変な思いをしております。</p> <p>前回の定例会でも同様の質問をしておりますが、今後の方針について、当局の考えを伺います。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	9番 関 清貴	1 人口減少について	<p>消滅の可能性のある自治体が公表され、2050年の本町の推定人口は6,703人とされている。少子化の状況は、児童生徒の激減でわかるように、止めようのない現実となっている。今後も町の勢いを保ち続ける施策が必要であると考え、次の点を伺う。</p> <p>(1) だれもが安心して生活できるように雇用の確保についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 本町の場合、子育て支援策は十分に恵まれていると思うが、今後考えている支援策はあるか。</p> <p>(3) 本町の人口減少を遅らせるためにどのような施策を考えているか。</p>
		2 愛猫運動について	<p>町内において、猫による近隣トラブル、苦情はどのくらいあるか。県内の市部においては、ボランティア団体による愛猫運動の取り組みが盛んのようにあるが、本町においても猫が良好な環境のもと、人間に愛され可愛がられる環境作りを推進していく考えはないか。</p>
		3 新山田小学校について	<p>新山田小学校のスタートは間近であるが、通学路等、児童生徒の登下校において危険箇所の点検を終えたのか伺う。また、通学路において危険な箇所があった場合に改修、改善はなされたか。</p> <p>新年度、始まったばかりであるが小、中学校において、いじめ事案に該当する案件があったか伺う。また、令和5年度のいじめ事案の件数についても伺う。</p>
		4 ひとり暮らし高齢者について	<p>町内のひとり暮らし高齢者の人数と平均年齢を伺う。また、ひとり暮らしの高齢者が病気等で倒れた際、救急車を呼べるのか心配しているが、高齢者が増える中で安心感を与えるような施策を実施しているか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	9番 関 清貴	5 水産業について	(1) 本町の水産業は、海洋環境の変化等により厳しい状況となっているが、研究機関、関係機関と連携して対応策を考えているか。 (2) ふるさと納税の主要な返礼品となっているウニの今年の状況及び、磯焼けの影響について伺う。
		6 町道の認定について	町道認定の要件を具体的に伺う。また、町内で町道認定を要望されている箇所はあるか。
8	2番 菊地 光明	1 神倉川について	(1) 神倉川の現状について、当局はどのように認識しているのか。 (2) その上で今後の整備計画について、年度ごとに詳しく述べよ。
		2 事業振興について	(1) 本年第1回定例会でも質問したが、再度質問する。漁港海岸について、日向脇付近は、海岸から道路までの非常階段の上には非常用の太陽光発電システムが設置されているが、同様に傾斜堤でありながら大沢地区内の漁港海岸には設置されていない。このことについて水産振興センターとどのような協議をしているのか。また、直立堤の大沢の旧防潮堤には、太陽光発電があるが、それより高い傾斜堤にはない。このことについて協議しているのか、詳しく述べよ。 (2) 浦の浜防潮堤について、海岸から道路に上がる非常階段に太陽光発電がないが、このことについて農林振興センターとどのような協議をしているのか、詳しく述べよ。 (3) 四十八坂付近の国道45号沿いの雑木の伐採について、環境省と協議しているのか。今後の方針について、詳しく述べよ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	2番 菊地 光明	3 漁業について	<p>(1) 漁業について、本年第1回定例会において「ホタテ養殖緊急支援事業で支援を検討しているところです。」と回答があったが、何世帯あって、最高額、最低額はいくらだったのか、また補助金の平均額はいくらだったのか詳しく述べよ。その上で今後の稚貝の購入に対する町の考え方について詳しく述べよ。</p> <p>(2) 浦の浜地区の浮き桟橋について、壊れたままになっているが、水産振興センターと今後の方向性について協議しているのか。</p>
		4 山田北インターの整備について	<p>このことについても、町長を先頭に日々努力していることに、町民を代表して感謝申し上げる。そこで伺う。現在の進捗状況について、可能な範囲で答弁してください。例えば用地交渉はどこまですすんでいるのか、人数が何人で、今後の予定と開設年度予定等、分かる範囲で説明してください。また、山田北インターから工業団地までの道路整備について、いつ頃実施するのか、計画はできているのか、議会への説明はいつ頃予定しているか、詳しく述べよ。</p>
		5 教育行政について	<p>(1) 小学校の統合問題も落ち着いてきたと思う。そこで伺う。山田小学校跡地について、今後どうするのか。全ての廃校について、学校ごと年度ごと詳しく述べよ。</p> <p>(2) 山田町総合運動公園第2運動場について、どの様な競技場にするのか。東北防衛局を始め自衛隊及び山田町体育協会等関係機関と話し合いしているのか、詳しく述べよ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	1 番 木村 洋子	1 子供の医療費助成事業について	当町では、子どもの医療費負担が一部残っている。子どもの受診時に医療費負担が無いことは子育て世帯にとって大きな安心感につながる。県内においても一部負担がある自治体は少なくなっている。小児科の専門医が不在の当町にとっては宮古などの遠方へ受診に行かねばならず、交通費の経済的負担があるという実状もある。子育て世帯の負担軽減をはかるため、子どもの医療費の一部負担を無くして子育て世帯への支援を進めていくべきではないか。
		2 災害公営住宅の共益費について	災害公営住宅の共益費は、空室の増加や電気料金の値上げ等に伴い住民負担が増している実態がある。特に、町中心部より遠方に位置する災害公営住宅においては、空室が目立ち、年金で暮らす高齢者世帯が多いことから、生活支援として共益費の負担軽減を行うべきではないか。陸前高田市では、災害公営住宅の空室分の共益費を自治体で負担している。当町においても、陸前高田市と同様に取り組みを考えていただきたい。 また、空室の解消も肝要と考えるが、町としての認識と考えを伺う。
		3 温暖化防止について	地球温暖化防止対策は、人類にとって喫緊の課題である。「地球温暖化対策実行計画」の策定状況は。また、温室効果ガス削減量の目標と具体的行動計画はどのようなになっているのかを伺う。
		4 物価高騰対策について	物価が高騰し続けており、住民、事業者、社会福祉施設等への影響が非常に大きい。生活と営業を守るため町としての取り組みはどのように行われているか。また、中小企業対策として、県の「物価高騰対策賃上げ支援金」は積極的に活用すべきと考えるが、利用状況と促進策は。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	1 番 木村 洋子	5 避難所について	<p>近年の異常気象で夏場の高温が予想される。3月議会において、当局より東日本大震災以後、防災備蓄等の整備を進めているとのことだが、避難所の暑さ対策と熱中症予防に対しどのように取り組んでいるのか。</p> <p>(1) 脱水や熱中症などに対してクーラー利用が推奨されているが、避難所の設置状況はどうなっているか。今後、設置の考えは。</p> <p>(2) 高齢者は、特にトイレに行く回数を少なくするため水分摂取を控える傾向にあるが、脱水を防ぐためには適度な水分摂取が重要である。また一方で、利用しやすいトイレの整備も重要となる。改善の状況と今後の計画は。</p>
10	12番 横田 龍寿	1 新山田小学校昇降口付近の整備について	<p>新山田小学校昇降口付近の安全性について、未就学児を持つ親御さんから不安の声がある。今後開校までに昇降口付近に歩道や横断歩道を整備する予定はあるのか伺う。</p>
		2 獣害対策について	<p>鳥獣が隠れる場所をなくすため、刈払いをして緩衝帯を設ける事が獣害対策として有効な手段の一つであると考えられている。</p> <p>そこで町内の森林周辺部を順次刈払いし、緩衝帯を設け、対策すべきと考えるがどうか。</p>
		3 職員の採用について	<p>5月15日発行の広報やまだには、専門職の採用予定各1名と記載されている。一方で一般職については若干名とあり、明確な数字の記載がないものもある。決められた募集人員の場合、不測の事態に対応できない可能性もあり、また、人数の目安がない場合は受験者の不安感が増すことも考えられる。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	12番 横田 龍寿	3 職員の採用について (つづき)	このことから、ある程度幅を持たせた表記をして募集するのがいいのではないかと考えるが町の見解を伺う。 また、健診業務等に対応するため、看護師の採用を検討してはいかがか。
		4 SMSの活用について	5月15日発行の広報やまだに官庁用SMSを使用開始する旨が記載されている。現時点でどのように活用しようと考えているのか具体的に示せ。
		5 消防団員の出勤手当について	消防団員の出勤手当は一昨年増額となったが、出勤している時間帯は拘束されることから、特に一次産業の自営業者にとっては、現時点の出勤手当でも少ないのではないか。 さらに増額する考えはないか、町の見解を伺う。
11	6番 豊間根 信	1 豊間根支所の移転後跡地の利活用について	豊間根支所移転後跡地について有効利用に向けた具体的な施策・計画等について伺う。
		2 自治会組織等の現状と課題・対応について	震災後、災害公営住宅をはじめとして、各自治会活動に対し活性化・支援策を講じてこられたが、現状と課題、今後の施策について伺う。